

平成29年度

公益財団法人目黒区芸術文化振興財団事業計画書

自 平成29年4月 1日

至 平成30年3月31日

公益財団法人目黒区芸術文化振興財団

平成29年度 公益財団法人 目黒区芸術文化振興財団 事業計画

1 基本方針

平成29年度は、公益財団法人移行後7年目を迎えるとともに、26年度から5年間の指定管理期間の4年目の年となります。また、美術館が開館30周年、文化ホールが開館15周年の節目を迎えることとなります。

区の厳しい財政状況を受けて平成24年度から実施されてきた3年間の緊急財政対策期間は終了しましたが、各事業の区補助金について以前の水準への復活は困難な状況が続いています。

また、目黒区区有施設見直し方針に基づく区有施設見直しの具体的な検討もさらに進められることとなります。

当財団の状況は大変厳しいものでありますが、これまで以上に親しまれ、愛されますよう、限られた財源や人材の中で区民・利用者の皆様本位の運営を心掛けながら、区からの補助金や指定管理料収入を基礎としつつ、利用料金収入、他団体助成金、賛助金などの自主財源も活用して、質の高い事業活動の維持に努めてまいります。

併せまして、芸術文化振興プランに示された区の芸術文化振興施策の一翼を担う団体として、区と締結した指定管理の協定書を誠実に履行しながら、その拠点である文化ホール及び美術館に課せられた使命を果たすべく、「文化縁」の形成・醸成による「目黒のまちの魅力づくり」のため、積極的に取り組んでまいります。

文化ホールと美術館では周年記念事業も予定しており、公益財団法人としての「収支相償の原則」を踏まえつつ、より一層職員の創意工夫によって、施設の利用率や入場者数等の向上を図り財源の確保に取り組むとともに、サービスの向上と効率的かつ効果的な事業運営を行うよう努めてまいります。

目黒区文化ホール

1 事業方針

(1) 鑑賞事業

今年度は開館15周年を迎えるため、区補助金を充当して周年事業を実施し、これまでの感謝の意を伝えるとともに、更なる発展を目指す契機とします。

その他の主催事業については、財団の自主財源を活用し、区民に優れた芸術文化に接する機会を提供するために実施していきます。その中で引き続き美術館の展覧会に合わせた連携コンサートを実施します。

また、事業費をかけない形態での共催事業についても、利用料金収入とのバランスに留意しながら実施していきます。

なお、鑑賞事業は、主催・共催ともに各年代層の要望に沿っていることや、公演のジャンルが偏らないことなどに留意し、事業計画を立てて実施します。

(2) 地域の芸術文化・支援事業

今年度は開館 15 周年を記念し、新進気鋭のアーティスト達によるガラコンサートを実施します。

また、区補助金を充当し、有事を想定して今年度で6年目となる「避難訓練コンサート」を実施します。

その他、豊かで創造性のある区民文化の醸成と魅力ある地域づくりを目指し、地域の多様な芸術文化団体の活動に対して、従来通り貸館利用や広報等の支援をしていきます。

(3) 学習・練習事業

区補助金や他団体助成金、自主財源を充当しながら、次代を担う子どもたちの育成事業や社会包摂の視点も踏まえた事業等に積極的に取り組みます。

その中で、小中学校を対象とした「アウトリーチプログラム」は、例年と同様の開催を維持するとともに、学校以外では、25 年度から実施している東京医療センターや 27 年度から実施している区立特別養護老人ホーム 3 施設でコンサートを実施します。また昨年度初めて実施した区心身障害者センターや区立幼稚園においても引き続き実施していきます。

また、ワークショップ事業は、子どもから大人まで、それぞれの年代を対象に実施していきます。

(4) 受託事業

今年度で 52 回目を迎える「目黒区文化祭」では、目黒区文化団体連合会や区と協力しながら民謡、合唱、洋舞をはじめ様々な芸術文化団体の活動支援に取り組みます。

また、「めぐろオータムアート」については、引き続き美術館と連携を図り、音楽と美術を合わせたプログラムを実施します。

(5) 貸館事業

区民をはじめ多くの皆様に利用いただいている貸館事業については、引き続き常に公平・公正や安全・安心に留意しながら、施設の貸出しや設備の保守管理に努めていきます。

また、情報コーナーや受付窓口等には、各種チラシ等を配備して公演等の情報提供を行っていきます。

2 運営方針

(1) 開館 15 周年を迎え、この機会に改めて響きの良さなどホールの魅力について周知していきます。また地域に根差したホールとして親しまれるように、より一層、地域コミュニティに寄与する取組を行っていきます。

(2) 鑑賞事業等の主催・共催事業の実施にあたっては、厳しい財政状況を踏まえながら広報・広告等の活用を図るとともに、27 年度から始めたツイッターやフェイスブックなど新たな手法も活用しながら、集客力を上げるための創意工夫に努めていきます。

また、賛助会員の拡大に努めるとともに、他団体の補助金、企業からの協賛金、広告料の獲得などを積極的に推進して収入の確保に努め、収支のバランスを図った運営に取り組んでいきます。

(3) 児童・生徒を対象にしたアウトリーチプログラムやワークショップ事業については、教育委員会や学校等と連携を図り、芸術性の高い音楽等を通じて子どもたちの豊かな感性を育む事業の充実に努めていきます。

また、東京医療センターや区立特別養護老人ホーム、区心身障害者施設でのアウトリーチプログラムについては、区や関係する施設との連携を密にしながら実施し、音楽を通して癒しや楽しさが感じられるように取り組んでいきます。

なお、学校等に派遣するアーティストについては、ホールでコンサートを実施した演奏家等に依頼するなど、ホール活動との一体的な運営に努めます。

(4) 目黒区文化祭やめぐろオータムアートについては、区や美術館との連携を図り、区民の幅広い芸術文化活動の支援に努めます。

(5) ホールの利用枠については、これまでのホールにおける一般利用の実績や収益性、利用料金制を踏まえ、行政利用と財団利用を合わせて概ね大ホールが 25%、小ホールが 15%程度にとどめて運営していきます。またホール利用率の向上のため、周知方法等の工夫策を検討していきます。

(6) 指定管理事業については、基本協定書や年度協定書に沿って着実に履行するとともに、指定管理者評価結果を真摯に受け止め、サービス向上の一層の改善に努めます。

なお、区の指定管理事業費に鑑賞事業実施の予算は計上されておりませんが、自主財源を活用し、開館 15 周年を記念する事業として 3 年に一度実施している区民参加型事業である「第九」演奏会を実施します。

(7) その他、事務経費全般については、これまで以上に節減し、適切な管理運営に努めます。

目黒区美術館

1 事業方針

(1) 展覧会事業

展覧会事業については、区民が親しみを感じ、当館ならではの特色のある展覧会を自主企画展とし、開館 30 周年記念展を含めた 3 展、指定管理事業である所蔵作品展、めぐろの子どもたち展と合わせて 5 展を開催します。年間の開館日数は、区展を加え 200 日程度を維持し、5 展の年間入館者数 4 万人を目指します。また、観覧料について、区民向けの特典を区と協議していきます。

(2) 教育普及事業

美術の普及や美術作品、地域の文化財への理解を深めるとともに、観る、創る、考えるなどの活動や交流を通じて感性を育む事業として例年行っている夏、春のワークショップをはじめ、展覧会に関連したワークショップ、ギャラリーツアー、講演会等を実施します。これらの教育普及事業の開催にあたっては、開館 30 周年の感謝を込めながら、当財団内の連携・協力、区及び教育委員会、学校等との連携を図ります。

(3) 調査研究

美術館の基本的な事業の一つとして、地域の文化資源等の学芸研究のほか、個々の学芸員の専門性を生かしながら、今後の美術館事業を見据えた調査研究を継続して行います。

(4) 区民等の芸術文化活動の支援

区内美術団体に対して、本館及び区民ギャラリーを提供するなど、区民の活動を支援します。

美術館や地域の活性化を図るため、地元商店街等との協力関係の構築に努めるとともに、芸術文化活動の推進にあたって区や他団体等との連携を図り

ます。

(5) 区民ギャラリーの運営

設営時に高所作業台を使用する際、補助台を用意して昇降の負担を軽減するとともに、使用方法等について利用者への周知徹底を図りながら安全性を確保し、区民等の創作の発表・交流の場としてより一層適正な運営に努めます。

また、空き利用の料金設定等に係る区との協議やPR等を工夫しながら新規利用者の増加を図るなど、さらなる利用率の向上を目指します。

2 運営方針

(1) 美術館事業の実施にあたっては、必要最小限の経費で予め作成した年間事業スケジュールに沿って実施します。また他団体助成金、企業からの協賛金の獲得など収入の増に積極的に取り組むとともに、事業ごとの収支バランスに留意します。

さらに、美術館事業に支障の無い範囲で、引き続きラウンジの一般利用を実施し、収益の増に努めます。

(2) 広報の一環として、ホームページのほかツイッター、フェイスブックなどのSNSを活用した情報発信に努めます。

(3) ギャラリーツアー等の実施にあたっては、教育委員会・学校等との連携を図り、子どもの鑑賞活動機会の拡充を図ります。

(4) 「めぐろオータムアート」事業等の実施にあたっては、区の芸術文化推進事業と連携を図り、区民の幅広い芸術文化活動の充実に寄与するよう努めます。

(5) 指定管理事業については、基本協定書に則り、着実に事業を履行するとともに、指定管理者評価委員会からも指摘のあった人員態勢の確保について、中長期的な見通しを持ちながら、適切に対応していきます。

(6) 開館30周年記念関連事業として、記念誌や所蔵作品目録最新版の作成準備、記念グッズの作成などを実施します。

平成29年度 目黒区文化ホール 事業計画

I 自主事業

※名称(○:継続 ☆:再演 ★:新規 (単位円)

1 鑑賞事業 (18事業・38公演)

※参加費等には、助成金及び広告料収入を含む。

区分	事業・公演						収入			支出	差額 (支出-収入) (自主財源)	
	番号	時期	会場	名称(○:継続 ☆:再演 ★:新規)	内容	公演数	チケット・参加費等	区補助金	合計			
主催	伝統芸能	1	1月	大ホール	○ 新春落語	新春に行う恒例の落語公演。	1	3,304,000	0	3,304,000	3,304,000	0
		2	未定	小ホール	☆ 文楽	文楽公演。	1	1,050,000	0	1,050,000	4,437,080	3,387,080
	クラシック	3	2月	大・小ホール	○ フレッシュ名曲コンサート	新進気鋭のアーティストをソリストに迎えるクラシックコンサート。管弦楽・読売日本交響楽団。	2	5,585,590	0	5,585,590	7,260,540	1,674,950
		4	未定	小ホール	★ 室内楽コンサート	クラシックコンサート。	1	426,000	0	426,000	980,000	554,000
		5	未定	未定	○ 美術館連携公演	美術館開館30周年事業との連携公演。	1	72,000	0	72,000	474,040	402,040
	ダンス	6	秋頃	大ホール	☆ 熊谷和徳 TAP DANCE	目黒区にゆかりのある世界的タップダンサー熊谷和徳の公演。ワークショップも予定。	2	2,609,000	0	2,609,000	5,189,000	2,580,000
	ポピュラー	7	冬頃	小ホール	○ JAZZ公演	著名なアーティストによるJAZZ公演。	2	819,000	0	819,000	1,229,870	410,870
	その他	8	6月、9月	GTホール・小ホール	★ 開館15周年記念イベント(パーシモン、GT)	入場料無料のミニコンサートやバックステージツアー等の実施。	2	0	1,906,163	1,906,163	2,000,000	93,837
次年度	0	0	0	○ 次年度準備経費	次年度公演の準備経費。	0	0	0	0	50,000	50,000	
共催	バレエ	1	8月	大・小ホール	○ 東京バレエ団「第5回バレエ祭り」	区内にある東京バレエ団による公演と小ホールでのワークショップ。	10	55,200	0	55,200	55,200	0
		2	1月	大ホール	☆ ロシア国立サンクトペテルブルグアカデミー「くるみ割り人形」	海外バレエ団の招聘公演。	1	41,400	0	41,400	41,400	0
	ダンス	3	12月	大・小ホール	☆ Meguro Dance Town 2017	ネクストジャパン(株)主催によるダンスフェスティバル。	2	5,520	0	5,520	5,520	0
	ポピュラー	4	7月	大・小ホール	☆ パーシモン・ジャズ・フェスティバル	ブランクトン主催のジャズフェスティバル。	2	61,272	0	61,272	61,272	0
		5	11月	大ホール	☆ ピアノエラ2017	世界的に著名なピアニスト達の共演。	2	53,820	0	53,820	53,820	0
		6	12月	大ホール	○ クリスマス・ゴスペルコンサート	ゴスペル歌手によるクリスマスコンサートと公募参加者によるコンサート。	2	22,356	0	22,356	22,356	0
		7	1月	大ホール	○ デキシーランド・ジャズ・ジャンボリー	一般社団法人日本ポピュラー音楽協会主催によるジャズコンサート。	1	15,732	0	15,732	15,732	0
	ミュージカル	8	7月	大ホール	★ キス・ミー・ケイト	一般社団法人映画演劇文化協会主催によるミュージカル公演。	2	140,760	0	140,760	140,760	0
	伝統芸能	9	5月	小ホール	☆ 高橋竹童	サウンドポート主催による津軽三味線の公演。	1	19,320	0	19,320	19,320	0
		10	春、夏、秋	大ホール	○ 落語	年3回の恒例の落語公演。	3	231,840	0	231,840	231,840	0
合計	18					38	14,512,810	1,906,163	16,418,973	25,571,750	9,152,777	

2 地域の芸術文化・支援事業

(18事業・21公演)

	区分	事業・公演					収入			支出	差額 (支出-収入) (自主財源)	
		番号	時期	会場	名称(○:継続 ☆:再演 ★:新規)	内容	公演数	チケット・参加費等	区補助金			合計
主催	地域支援	1	未定	大ホール	○ 第6回避難訓練コンサート	公演中に避難訓練を行う企画。	1	0	551,000	551,000	551,000	0
		2	冬頃	小ホール	○ 東日本大震災復興支援コンサート	目黒区と友好都市である宮城県気仙沼市等への復興支援事業。助成金を活用予定。	1	1,195,000	0	1,195,000	2,621,300	1,426,300
	新進支援	3	冬頃	大ホール	★ 未来の音ガラコンサート	開館15周年を記念した新進気鋭のアーティストによるガラコンサート。	1	1,856,000	0	1,856,000	4,238,704	2,382,704
共催	団体支援	1	3月~4月	大ホール	○ 全国舞踊コンクール(予選・決選)	パレエ・舞踊・邦舞のコンクール(東京新聞)。	1	0	0	0	68,000	68,000
		2	6月	大ホール	○ 全国舞踊コンクール入賞者アンコール公演	パレエ・舞踊・邦舞のコンクール入賞者による公演(東京新聞)。	1	1,000	0	1,000	1,000	0
		3	6月	大ホール	○ 東京新聞児童舞踊合同公演	東京新聞主催による、児童舞踊部門だけの公演。	1	1,000	0	1,000	1,000	0
		4	4月	大ホール	○ 東山オーケストラ演奏会	目黒区東山オーケストラ主催による演奏会。	1	0	0	0	0	0
		5	5月	中目黒GTプラザホール	○ 東京インターアーツ目黒コンサート	東京インターアーツ目黒主催による現代音楽と邦楽のコンサート。	2	900	0	900	900	0
		6	6月	大ホール	○ 目黒区民交響楽団 定期演奏会	目黒区民交響楽団主催による定期演奏会。	1	4,000	0	4,000	4,000	0
		7	6月	大ホール	○ ヤマハ目黒吹奏楽団演奏会	ヤマハ目黒吹奏楽団主催による定期演奏会。	1	0	0	0	0	0
		8	11月	大ホール	○ 東京マンドリン宮田楽団 定期演奏会	東京マンドリン宮田楽団主催による定期演奏会。	1	0	0	0	0	0
		9	7月	中目黒GTプラザホール	○ 伝統文化に親しむ(歌舞伎)	(公財)北野生涯教育振興会による伝統文化公演。	2	0	0	0	0	0
		10	3月	小ホール	○ 北野財団主催 東日本大震災鎮魂コンサート	(公財)北野生涯教育振興会による鎮魂コンサート。公募で集まった区民が合唱団員として出演。	1	3,520	0	3,520	3,520	0
		11	7月	大・小ホール	○ 第15回パーシモンほたるまつり	都立大学商店街等実行委員会主催の区民キャンパスで実施する地域イベント。	1	0	150,000	150,000	300,000	150,000
		12	秋頃	大ホール	○ めぐる童謡コンサート	童謡の里めぐり保存会主催による童謡・合唱等のコンサート。	1	11,500	0	11,500	11,500	0
		13	12月	小ホール	○ 身体で聴こう音楽会	バイオニア(株)主催による聴覚障害者等を対象としたコンサート。	1	0	0	0	0	0
		14	3月	大ホール	○ めぐるクラシックセレクション	区内のクラシック音楽家で組織された団体(目黒区クラシック音楽家協会)主催によるコンサート。	1	1,100	0	1,100	1,100	0
		子育て支援	15	3月	小ホール	○ 親子のためのふれあいコンサート	東京ユニバーサル・フィルハーモニー管弦楽団主催のファミリーコンサート。	2	7,500	0	7,500	7,500
合計		18				21	3,081,520	701,000	3,782,520	7,809,524	4,027,004	

3 学習・練習事業 (4事業・32公演)

	区分	事業・公演					収入			支出	差額 (支出-収入) (自主財源)	
		番号	時期	会場	名称(○:継続 ☆:再演 ★:新規)	内容	公演数	チケット・参加費等	区補助金			合計
主催	ワークショップ	1	夏頃	小ホール	○ 子ども向けワークショップ(演劇、ダンス)	子どもを対象にしたワークショップ。パレットプログラムから名称変更する。助成金を活用予定。	2	805,000	0	805,000	805,000	0
		2	秋頃	小ホール	○ 大人のためのワークショップ	大人を対象にしたワークショップ。	1	80,000	0	80,000	1,093,240	1,013,240
	アウトリーチ	3	年間	小中学校等	○ 学校アウトリーチプログラム	区内小中学校等にアーティストが出向き、子どもたち等との交流を実施。	25	0	3,300,000	3,300,000	3,300,000	0
		4	未定	その他	○ 学校以外のアウトリーチプログラム	様々な目黒区内の場所にアーティストが出向き、演奏等を実施。(病院等)。	4	0	0	0	200,000	200,000
合計		4				32	885,000	3,300,000	4,185,000	5,398,240	1,213,240	

4 自主事業運営経費

	名称 (○:継続 ☆:再演 ★:新規)	内容	収入			支出	差額 (支出-収入) (自主財源)
			チケット・参加費等	区補助金	合計		
自主事業 運営経費	○ チケット手数料及び委託	チケット購入に係るシステム委託及び手数料。	0	870,000	870,000	870,000	0
	○ 都立大駅前ポスター掲出委託	都立大学駅前に設置している看板掲出料。	0	480,000	480,000	480,000	0
	○ ボランティア育成	ホールの自主事業等のスタッフとして活動してもらうための補助。	0	0	0	50,000	50,000
	○ 賛助会運営	ホール賛助会(法人・個人)の運営。	884,800	0	884,800	38,000	△ 846,800
	○ アートレター	財団情報紙である「アートレター」の作成・配布。	546,000	3,402,800	3,948,800	5,183,840	1,235,040
	★ 15周年事業における広報事業	開館15周年を記念した広報・宣伝。	0	0	0	4,000,000	4,000,000
合計			1,430,800	4,752,800	6,183,600	10,621,840	4,438,240

(40事業・91公演)	ホール事業経費 総合計(公演事業+運営経費)	19,910,130	10,659,963	30,570,093	49,401,354	18,831,261
-------------	------------------------	------------	------------	------------	------------	------------

II 指定管理事業

	事業・公演						収入			支出	差額 (支出-収入) (自主財源)
	番号	時期	会場	名称(○:継続 ☆:再演 ★:新規)	内容	公演数	チケット・ 参加費等	指定管理料	合計		
指定管理事業	1	9月	大ホール	★ 区民参加型コンサート	開館15周年を記念した事業として、3年に1度を実施している区民参加型事業『第九』演奏会。区民参加者は150名程度を予定。	1	6,066,900	0	6,066,900	9,279,640	3,212,740
合計	1					1	6,066,900	0	6,066,900	9,279,640	3,212,740

III 区受託事業

	区分	事業・公演						収入			支出	差額 (支出-収入) (自主財源)
		番号	時期	会場	名称(○:継続 ☆:再演 ★:新規)	内容	公演数	チケット・ 参加費等	区受託料	合計		
共同 主催	目黒区文化祭	1	春・秋	大・小ホール等	○ 第52回目黒区文化祭	日舞、合唱、民踊、華茶道、邦楽、郷土、洋舞、吟剣、自主グループ、演劇、謡曲、民謡、音楽、ユネスコの各団体による公演	13	0	1,863,336	1,863,336	1,863,336	0
	めぐろオータムアート	2	秋頃	大・小ホール等	○ めぐろオータムアート	目黒区の特徴を生かし、「聴く、観る、知る、創造する、育てる」の視点から、たくさんの人に芸術文化に接し、親しんでもらうためのイベント	2	140,000	615,600	755,600	755,600	0
合計		2				15	140,000	2,478,936	2,618,936	2,618,936	0	

平成29年度 目黒区美術館事業計画

【自主事業・展覧会】

(単位 円)

NO	展覧会名	期間(予定)	内 容	事業費見込	収入見込		
					展示事業等収入	区補助金	自主財源
1	「よみがえる画家-板倉鼎・須美子」展	4月8日(土) ～6月4日(日) 【50日間】	1920年代、パリに留学し魅力的な作品を数多く残した板倉鼎・須美子夫妻。本展は、惜しくも早世した二人の知られざる画業を、二人と縁の深い文学者や芸術家などのバックグラウンドとともにご紹介します。また、二人と親交の深かった岡鹿之助や伊原宇三郎ら、当館所蔵の同時代にヨーロッパで学んだ画家たちの作品をあわせ、戦前の「画家の滞欧」の興味深い一側面をご観いただけます。本展は2015年に松戸市立博物館で開催された「よみがえる画家 板倉鼎・須美子展」の主要部分を再現し、同時代の滞欧作家たちの作品および関連資料等について当館所蔵品を中心に新たに構成するものです。▽協力:松戸市教育委員会	9,928,000	4,040,000	0	5,888,000
2	「ヨーロッパの木の玩具」展	7月8日(土) ～9月3日(日) 【50日間】	当館では内外の優れたデザインによる積み木や構成玩具などを「トイコレクション」として収集し、乳幼児から家族を対象に創造性をはぐくむプログラムを展開しています。これまでには「積み形+組む形」「ペア・クラーゼンの世界展」「遊びの形と色展-クルト・ネフ&アントニオ・ヴィターリ」を開催、好評を博しました。今回は当館が大事にしている「木」と「遊び」を取り上げ、伝統から現代までを視野に、質の高いヨーロッパの木の玩具を紹介し、ますます必要になる、手で遊び、手で考えることを問い直していきます。▽協力:アトリエニキディキ	11,442,500	3,942,500	0	7,500,000
3	目黒区美術館開館30周年記念 「日本パステル畫事始め」展	10月14日(土) ～11月26日(日) 【38日間】	淡く柔らかな色彩の美しさを連想する「パステル」ですが、実は油彩にも匹敵する重厚な表現までその可能性は幅広く、最も直接的に色材の色調を示す画材という特筆すべき性格ももっています。パステル画が我が国にもたらされたのは明治時代以降ですが、本展は、その普及に大きな影響を残した、武内鶴之助と矢崎千代二という優れた画家を中心に、国内にもたらされた海外作家の作品や、パステル国産化の過程を示す資料等もまじえて、パステルという画材とその特性、魅力に、あらためて多面的な考察を試みるものです。これまで、素材や技法、画材に関心を寄せてきた当館の30周年を記念する展覧会として開催いたします。	22,058,800	9,688,800	11,032,000	1,338,000
				43,429,300	17,671,300	11,032,000	14,726,000

※展覧会名については、一部変更することがあります。

【指定管理事業・展覧会】

NO	展覧会名	期間(予定)	内 容	事業費見込	収入見込		
					展示事業収入	区指定管理料	自主財源
1	「めぐろの子どもたち」展	1月17日(水) ～2月1日(木) 【14日間】	目黒区立の幼稚園、小学校、中学校で学ぶ子どもたちが、授業中に制作した図画工作・美術・書道などの作品を展示し、子どもたちの素直な目を通して発見された驚きや、美しいものにしたいという意欲など、心の動きが豊かに表現された力作を紹介し、あわせてアメリカジョージア州チェロキー郡の子どもたちが描いた作品も展示します。	1,923,402	0	1,923,402	0
2	「目黒区美術館30周年 コレクション」展+「秋岡芳夫全集5」	2月10日(土) ～3月18日(日) 【32日間】	開館30周年を迎える目黒区美術館。作品収集を始めて以来、今日まで続けてきた収集活動で形成されてきたコレクションから、厳選した作品を紹介します。現在では入手困難な作品、意外な作家の意外な作品、等々「地方美術館の時代」を生き抜いた美術館が何を残すことができたのか、そこには何が残ったのか。ひとつひとつの作品の魅力と、目黒区美術館を舞台に、新たに、時には久しぶりに結ばれた関係性の面白さに触れていただきます。同時開催で、目黒区ゆかりの工業デザイナー秋岡芳夫の仕事も紹介します。	2,958,800	1,108,800	1,850,000	0
				4,882,202	1,108,800	3,773,402	0

【自主事業・教育普及】

平成29年度 目黒区美術館事業計画

(単位 円)

NO	事業名	名称ほか	時期(予定)	募集対象	回数	内容	事業費見込	収入見込		
								催物収入	区補助金	自主財源
1	ワークショップ(1)夏	木と遊ぶ(仮称)	7月～9月	小学生、中学生、大人	4コース程度+遊びの広場	木と玩具展に関連した内容とし、小学生・中学生向け2コース、大人、ファミリー向けを行います。さらに、平成28年に復活した「遊びの広場」も数日間の日程で実施予定。	967,500	167,500	800,000	0
2	ワークショップ(2)春	美術を見る・知る3(仮称)	平成30年2月～3月	小学生～大人	3コース程度	美術全般についての美術講座を予定する。美術の基本についての第3弾としてのテーマを設定します。	410,000	60,000	324,000	26,000
3	目黒区総合庁舎ガイドツアー		4月～5月	中学生～大人	4回	村野藤吾設計の目黒区総合庁舎の見どころを解説する人気の庁舎建築ツアー。平成29年度は、英語のツアーを試験的に導入し、各地の村野建築イベントに係る相互の広報も前年に続き予定していきます。	※	※	0	0
4	トイコレクションプログラム	アウトリーチ	5月、12月	乳幼児～大人	2回	トイコレクションボランティアチームが、児童館で展開するアウトリーチプログラム。テーマとストーリーをつくり、児童館に来る子どもたちと遊び美術館を紹介する。トイの日は、美術館で行います。			0	100,000
		トイの日	7月	乳幼児～大人	2日					
5	大人のための美術カフェ	各展覧会	各会期中	高校生以上	4回	平成26年度から始めた当館学芸員による、大人向けのゆるやかな美術談義。午後のラウンジで展覧会担当学芸員が担当した展覧会や美術に関するエピソードなど自由にテーマを設定して話をします。			0	0
6	ギャラリーツアー	各展覧会	各会期中	小中学校	複数回	区内、近隣小中学校の鑑賞教室として受け入れます。			0	0
7	デザインキャンプ		夏以降	高校生以上	1回	ハーマンミラーとのコラボレーション。デザインに関するワークショップ。今年度で5回目の開催となります。			0	0
8	美術講座1	館長による講座	夏以降	高校生以上	3回	目黒区美術館館長による美術に関する連続講座。			0	0
9	美術講座2	目黒区美術館シリーズ	夏以降	高校生以上	3回程度	特定のテーマを深く掘り下げて、外部講師も交えて行います。			0	0
※ 事業費については主に参加料収入を充てます。各展覧会においては、関連催事を予定していきます。									1,377,500	227,500

【自主事業・30周年関連】

30周年記念誌企画・立案・準備委託、30周年記念グッズ制作等	1,500,000	0	200,000	1,300,000
--------------------------------	-----------	---	---------	-----------

【受託事業・教育普及】

NO	事業名	名称	時期(予定)	募集対象	回数	内容	事業費見込	収入見込		
								催物収入	区補助金	自主財源
1	めぐろオータムアート(目黒区文化・交流課と財団の共同企画)		(10月～11月)	未定	未定	目黒界隈の建築を見るツアー「建築めぐり塾」、家族で美術と美術館に親しんでいただくことのワークショップ。パーシモンホールとの共同企画を予定しております。	239,800	13,000	226,800	0

《受託事業・目黒区文化祭》(区民ギャラリー)※日程については予定

1) 自主グループ展

《後援事業》(区民ギャラリー)※日程については予定

1) 目黒区書作家協会展:5月17日(水)～21日(日)

2) 目黒区美術家協会展:6月21日(水)～25日(日)

3) 目黒区美芸作家協会展:平成30年3月27日(火)～4月1日(日)

《協力事業～主催;目黒区民作品展実行委員会》※日程については予定

1) 区展(区民作品展)

9月20日(水)～10月1日(日)